場所：鹿児島県日置市日吉町日置（想定）

豊かな自然に囲まれた地区で、集落の結びつきが強く残っています。外国人就労者を受け入れるような企業も近くにあり通勤にも困りません。また、民家を使ったCafeやギャラリーも多く点在し活気のある地域です。日置市は国際交流員を韓国、マレーシアから招いており市民の外国人への理解も高いものだと考えられます。

＜取り組み＞

受け入れ企業は、外国人就労者の住居手当や福利厚生費用として支出を伴いますが、就労者が健全な状態で働く環境が整えば企業の生産性も向上します。最終的には市町村の収入増につながる事から、市町村は空き家の改修費用（スタート費用）に対して助成をしてもらいます。I･Uターン者は自らも収入を得るため、飲食店や民泊などを営むことも可能です。

日本の古い住処（すみか）を蘇生し、美しい自然景観の中でI･Uターン者と地域住民を中心とした、新たな外国人就労者支援の取り組みが地域独自の活性化へと発展します。

改修工事は用途変更がないので、基本的には掃除をしてそのまま使う事を前提とします。

空き家は木造建築が多く、大掛かりな重機や特殊な工具がなくても、ホームセンターなどでそろう材料で比較的簡単にリフォームできます。少し経験のある地域の方にアドバイスをもらえば、自分たちで修理は可能です。

先輩の外国人就労者が、後輩の為に地域の助けを借りてDIYすることも可能で、一緒に作業する事や終わった後の食事会もコミュニケーションにつながります。

空き家になっている日本家屋のほとんどに、床の間と次の間の二間続きがあります。このスペースを地域に開放して、地域会の打合せや、四季の行事、国際交流など様々な取り組みを行います。